

# 高知くらしの護身術

48

## 狙われる高齢者

### 3つの不安あおる

(2007年3月7日掲載原稿)

平成17年度から60歳代以上の高齢者の相談が増加傾向顕著になり平成18年度上半期では、全相談件数の3割超を占めていました。

高齢者は、3つの大きな不安「お金」「健康」「孤独」を持っているといわれています。悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切にして信用させ、年金・貯蓄等大切な財産を狙っています。

また、高齢者は自宅にすることが多いため、訪問販売や電話勧誘販売による被害が多いのも特徴です。トラブルに遭わないためには、きっぱり断ることが重要です。手口を知ることも武器になりますので紹介します。

「お金」に関連する相談では、低金利が続く中、仕事についていない人や年金暮らしの人にとって「お金」への不安はつきません。昨年「高金利、高配当」を強調していたベルル共済が業務停止し、巨額資金が不明となった問題や友人・知人・親類から「人を紹介すれば簡単に儲かる」などと成功談を聞かされ、断れない状況で契約させられるマルチ商法に関する相談が後を絶ちません。

「健康」に関する相談では、「足が痛いのが治る」「血行をよくする」など、健康不安を持つ心理をたくみにつき、健康食品、電器治療器、布団を購入させる手口があります。

「孤独」に関する相談では、景品を無料配布したりして人を集め、閉めきった会場で楽しく得した気分させて最終的には高額な布団などを売りつけるSF商法に関する相談が寄せられています。

このようなトラブルに遭った場合には、早めに相談すればするほどよりよい結果が得られます。